

社会福祉協議会だより



共にささえあい 安心して心豊かに暮らせる 福祉のまち

「あったかフェてんどう」がオープン♪

6月15日、天童市総合福祉センターに認知症カフェ「あったかフェてんどう」がオープンしました。このカフェは、認知症のお年寄りや家族が集うスペースで、当事者同士の情報交換や常駐する専門家らへの相談の場として活用してもらおうと、天童市が山形県認知症高齢者グループホーム連絡協議会村山地区ブロックと連携し、開催しているものです。

あったかフェてんどうは、毎週水曜日(祝祭日を除く)の13時から15時30分まで、天童市総合福祉センターの2階創作室(女性の部屋)で開設しています。ぜひお気軽にお越しください。

- P.2 赤い羽根共同募金、歳末たすけあい運動が始まります。
- P.4 お気軽にご相談ください!
天童市居宅介護支援事業所・訪問介護サービス事業所
- P.5 さわやか健康教室のお知らせ
- P.6 いきいき健康福祉まつりを開催します!
「地域福祉はみんなの力で」地域社協活動紹介



「おかげさまで70周年」 赤い羽根共同募金が始まります



illustration by さきつこ
© Crypton Future Media, INC. www.piapro.net piapro

赤い羽根共同募金には大きく分けると「一般募金」と「歳末たすけあい募金」があります。

「一般募金」は10月1日から3か月間、「歳末たすけあい募金」は12月1日から1か月間の運動期間となります。

「一般募金」「歳末たすけあい募金」とも、趣旨にご賛同いただき、「一般募金」の募金目安額450円、「歳末たすけあい募金」の募金目安額300円の戸別募金にご協力くださるようお願いいたします。(募金目安額は、目標額を元に算出した額になりますが、あくまでも目安額です。)

また、今年度も「一般募金」の一環として法人募金、学校募金、職域募金等を実施いたします。みなさんのご理解、ご協力をお願いいたします。

なお、共同募金会への寄付には、税法上の優遇措置があります。手続等の詳細については本会へお問合せください。

みんなでささえあう あったかい地域づくり

天童市支会目標額 490万円

町に愛を。胸に羽根を。

天童市支会目標額 812万2,000円

一般募金

「赤い羽根共同募金」は、民間の社会福祉活動を盛にするために、国民の助け合い運動として一九四七年（昭和二十二年）に誕生し、今年で七十回目を迎える全国的な運動です。

本会では、天童市民のみなさんから寄せられる「一般募金」を地域福祉事業（地域福祉ネットワーク活動・ボランティア活動育成等）に活用させていただき、「共にささえあい 安心して心豊かに暮らせる 福祉のまち」を目指します。

歳末たすけあい募金

「歳末たすけあい募金」は、地域住民やボランティア、社会福祉協議会等の関係機関・団体のご理解やご協力のもと、新たな年を迎える時期に、支援等が必要とする人たちが地域で安心して暮らせるよう、さまざまな福祉活動を展開します。

天童市民のみなさんから寄せられる「歳末たすけあい募金」は、募金のご協力をいただいた各地域に住む支援等が必要とする方々（寝たきり高齢者、単身高齢者、在宅長期療養者等）に配分いたします。

また、本会へ直接、ご協力いただいた篤志寄付金等は、市内の福祉施設や社会福祉協議会の地域福祉事業に配分いたします。

天童市で集まった募金の約75%が、天童市内で使われます

**赤い羽根共同募金が応援した
「地域活動支援センターもみじの里」さんからお礼の手紙をいただきました**

寄付者の方々への ありがとうメッセージ

今回たくさんの手芸用具等を購入させていただき、効率良く作業を行うことが出来ます。利用者さんが主体となる作業を計画して行い、その効果を地域のみなさんや支援くださっている関係機関等に還元出来れば強く思っています。寄付してくださったみなさんのことを思いながら、大切にに使わせていただき、更なる施設の発展へとつないでまいります。

寄付してくださった
方々及び共同募金関係
各位に心から感謝申し
上げます。誠にありが
うございます。



障がい者小規模作業所支援事業（手芸用具等配分）

社会福祉法人山形県共同募金会天童市支会

☎994-0013 天童市老野森2-6-3

天童市総合福祉センター内

TEL 023-654-5156 FAX 023-654-5166

E-mail fukushi-tendo@viola.ocn.ne.jp

<http://www.tendo-shakyo.or.jp/about/red-feather/>



ご寄付ありがとうございます

平成28年6月1日～平成28年9月10日分

◆天童市社会福祉基金

・(株)アトムプロダクション様 (50,000円)



6月18日に開催されたチャリティー公演「さくらんぼ演歌まつり」の収益金をご寄付いただきました。

◆生活に困窮している方のために

・全国有機農法連絡会様（米1kg×40袋）

※天童市社会福祉基金は、社会福祉向上に資する諸事業及び福祉事業の促進を図ることを目的として設置しています。

ご協力ありがとうございます

平成28年度

社会福祉法人天童市社会福祉協議会会費

平成28年9月9日現在

地域名	会 員	集金額
天 童 南 部	2,221人	1,554,700円
天 童 中 部	3,228人	2,259,600円
天 童 北 部	1,827人	1,278,900円
成 生	1,178人	824,600円
蔵 増	831人	581,700円
寺 津	422人	295,400円
津 山	956人	669,200円
田 麦 野	71人	49,700円
山 口	895人	626,500円
高 揃	1,117人	781,900円
長 岡	1,494人	1,045,800円
干 布	814人	569,800円
荒 谷	562人	393,400円
合 計	15,616人	10,931,200円

ご協力いただきました会費は「共にささえあい 安心して心豊かに暮らせる 福祉のまち」づくりのため、地域福祉事業に活用させていただきます。

なお、各地域の社会福祉協議会より、会費集金にご協力いただきましたので、各地域の福祉推進に利用いただくため、各地域社会福祉協議会に15万円の助成を行っております。



お気軽にご相談ください



住み慣れた地域でいつまでも自分らしく暮らしていけるように、利用者の持てる力を活かして自宅での生活が継続できるような支援を目指します。

天童市社会福祉協議会 介護サービス係

居宅介護支援事業所

介護保険の要介護認定を受けた方が、住み慣れた地域で生活できるよう介護支援専門員(ケアマネジャー)がご本人、家族の意向を尊重し介護保険にかかる支援を行います。

- 要介護認定の申請代行
- ケアプラン(居宅サービス計画書)の作成
- 介護サービス事業所との連絡・調整など

■問合せ：天童市居宅介護支援事業所 023-658-7350

訪問介護サービス事業所

利用者の自宅を訪問して、ご本人の力を活かした介護に努め、安全に在宅生活を送ることができるように支援しています。

- 介護保険制度に基づく訪問介護事業
要介護・要支援認定の方の身体介護や生活援助
- 障害者総合支援法に基づく居宅介護及び重度訪問介護、同行援護事業
障がいのある方の身体介護や家事援助、視覚障害のある方への外出支援
- 介護予防・日常生活支援総合事業
総合事業の対象者と判定された方への身体介護や生活援助
- 地域支援事業に基づく移動支援事業
障がいがある方への外出支援
- エンゼルサポート派遣事業
双子以上を養育している保護者の子育て支援
- まごころ支援事業
介護保険制度や障害者総合支援法では対応できないサービスを行う自主事業



■問合せ：天童市訪問介護サービス事業所 023-658-7355

トピックス

小学生との交流会を実施

～いきいきサロン事業～

7月12日(火)、荒谷いきいきサロンと荒谷小学校1、2年生との交流会が開催されました。一緒に昔遊びを楽しんだり、おいしい給食を食べたりして、みなさんがとてもいい笑顔に包まれ、世代を超えた心温まる交流会になりました。



うきうき学習会を開催♪

7月29日(金)と8月19日(金)の2日間、天童市総合福祉センターにおいて「うきうき学習会」を開催し、合計39名の小中学生に参加していただきました。この活動は、平成26年度から、退職公務員連盟東村山支部に所属している元教員の会員が社会貢献活動の一環として、本会と共催し行っているものです。

子ども達は、夏休みの宿題の分からないところを教えてもらったり、学習の進め方を相談したりするなど、充実した時間を過ごしていました。



どなたでもお気軽にご参加ください!!

平成28年度 加齢を華麗に！さわやか健康教室

月 日	テ ー マ	講 師	定員	場 所	持ち物
10月20日(木) 10:00~11:00	目指せマイナス5歳! 脳とからだの若返り体操 ※荒谷地域の方限定となります。 ※問合せは荒谷公民館へ!	医療法人社団斗南会 ラ・フォーレ天童のぞみ	50名	荒谷公民館	・運動できる服装 ・タオル ・飲み物 ・内ズック
11月11日(金) 13:30~15:00	物とところの整理をしよう ～終活ははじめの一歩～	山形県社会福祉協議会 柴田 邦昭 氏	50名	明幸園	・筆記用具
11月25日(金) 13:30~15:30	見直そう!正しい歯磨き	【前半】愛歯医院 歯科医師 佐藤 美紀 氏 【後半】山形県歯科衛生士会 佐藤 奈美 氏 山口 友子 氏	50名	天童市総合 福祉センター	・筆記用具 ・タオル ・牛乳パック ・洗濯バサミ
12月6日(火) 13:30~15:00	自宅でできる体のセルフケア ※成生地域の方限定となります。	リハビリ特化型デイサービス カラダラボ天童老野森柔道 整復師 高橋 真義 氏	50名	成生公民館	・運動できる服装 ・タオル ・飲み物 ・内ズック
12月20日(火) 10:30~12:30	簡単!栄養満点! 男の料理教室	ゆにしあ 管理栄養士 池田 百合子 氏	15名	寺津公民館	・筆記用具
平成29年 1月12日(木) 13:30~15:00	高齢者うつとところの健康	二本松会 上山病院 臨床心理士 佐藤 仁美 氏	50名	明幸園	・筆記用具

※受講料は無料です。各講座開催の前日までにお申し込みください。

■申し込み

天童市地域包括支援センター中央

電話 023-658-8190 月曜～金曜 (8:30～17:15)

天童市地域包括支援センターめいこうえん

電話 023-664-0600 月曜～金曜 (8:30～17:15)

サロンなどで
ご活用ください!

ふれあいまちづくり講座

天童市社会福祉協議会では、さまざまな特技や専門知識を持つ方々に講師登録していただき、いきいきサロンや町内会、小中学校等に派遣する「ふれあいまちづくり講座」を実施しています。地域の行事や福祉学習の場で、ぜひご活用ください。また、講師も募集していますので、ご活躍いただける方は下記までご応募ください。

《現在登録いただいている講座》

◆楽しい時間を過ごすために

- 音楽を使った健康づくり ○男声合唱団 ○なつめろ ○ギター・オカリナ演奏 ○昔語り
- 手品・マジック ○民謡と三味線・尺八演奏 ○がまの油売り口上 ○踊り・唄・詩舞

◆健康や趣味・福祉教育のために

- 体力づくり教室 ○軽体操指導 ○健康講話 ○押し花教室
- 健脳トレーニング ○折り紙教室 ○食生活相談・料理教室
- 絵手紙教室 ○茶の湯・生け花 ○着物着付け
- 福祉講座(車イス・点字・手話)

■問合せ 天童市社会福祉協議会 地域福祉係
(電話 023-654-5156)



軽体操・健脳トレーニング

いきいき・ふれあい健康福祉まつり2016 福祉のまちづくり講演会



「広げよう つなげよう 地域の支え合い」

公益財団法人さわやか福祉財団 理事長 清水 肇子 氏

さわやか福祉推進センター（現さわやか福祉財団）創立時から参加。「さあ、言おう」編集長、常務理事（兼）事務局長を経て、2014年7月から理事長に就任。

・地域における生活支援サービスのコーディネート機能の構築に関する調査研究事業委員（厚生労働省）
・経済財政諮問会議政策コメンテーター（内閣府）

10月8日 午前9時～午前11時（開会式・社会福祉功労者表彰を含む）
天童市総合福祉センター 1階 屋内運動広場

介護保険の介護予防・日常生活支援総合事業の重要なポイントである「住民主体の支え合いの地域づくり」をテーマとした講演会を開催します。ぜひご来場ください。（会場内で手話通訳を行います。）

※講演会の他、芸能大会、文化祭、縁日広場など様々なコーナーを開設します。ぜひご来場ください。

「地域福祉はみんなの力で」 No.1 高嶺地域社会福祉協議会

地域社会福祉協議会は、天童市内13地域に開設された地域福祉活動を実践する組織です。
今回は、高嶺地域社会福祉協議会様より、活動内容についてご寄稿いただきました。

「地域で支えあおう！ 強い絆のまち 高嶺をめざして」

このスローガンを掲げ、高嶺地域社会福祉協議会は、設立10周年目を迎えました。

4年前に会則や組織を見直し、行事を新たに起こすなどして活動を進めています。民生児童委員、福祉推進員、町内会長、各種団体の代表者が役員となり、民生児童委員と福祉推進員が中心になって活動しています。

10月は、5回目となる「高嶺元気塾」を開催します。75歳以上の一人暮らしとご夫婦世帯の方々を招待し、地域の方や役員など、昨年は約120名が参加しました。今年も、昨年大好評だった齋藤前高嶺公民館長による「心に残る昭和歌謡元気サロン」の後編を実施します。そして、食生活改善推進協議会高嶺支部の役員が用意してくれるおいしい昼食を食べながら交流会をします。

11月は、女性会と共催で、一人暮らしの高齢者宅を訪問します。福祉推進員と女性会員がお土産を持っていき、いろいろお話をします。

12月は「高嶺ふれあいネット」を開催します。75歳以上の一人暮らしとご夫婦世帯の方々を招待し、天童最上川温泉ゆびあで交流会をします。年々参加者が増えています。

また、2年前より「認知症サポーター養成講座」を開催しています。参加者は毎回100名を超え、認知症の正しい理解と対応の仕方について学びました。子ども達にも学ばせたいと高嶺小学校に受講を勧め、2年前から子ども向けの認知症サポーター養成講座を5年生が受講しています。

そして、地域の方々に活動を知らせ、様々な福祉情報を伝える「高嶺地域社会福祉協議会だより」を年2回発行しています。8月に第7号を各家庭に配付しました。

新企画も相談中で、地域の皆さんと協力しあって、さらに福祉活動を進めていきます。

